

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

こどもの病気対策法⑩

腹痛編

大分大学医学部地域医療 小児科分野担当 教授 是松聖悟



子どもの腹痛の原因はさまざまです。虫垂炎や胃腸炎、腸閉塞、腹部打撲後の腸穿孔などの胃腸の病気がかりではありません。尿路感染症、睾丸捻転、卵巣捻転、肺炎、心炎、大腿骨髄炎、食物アレルギーでも生じます。ただし、頻度としては、「便秘」と「胃腸炎を含む風邪」が、2大原因であるところを理解ください。

みぞおちの痛みは、胃、膵臓、胆嚢の病気を考えます。食前の痛みは胃潰瘍、食後の痛みは胃炎など。通常、子どもで胃潰瘍は稀ですが、遺伝がある場合や井戸水などを常用している場合は可能性があります。膵炎はおたふく風邪に合併することがあります。

臍周囲の痛みは、胃腸炎を考えます。ただし、数日より長い経過で、どんどん悪くなるわけでもなく、良くなるわけでもなく反復する場合は、心因性の可能性がでてきます。決めつけてはいけませんが、子どもが訴えることのできない悩みに気づいてあげることが必要か



もしれません。右下腹部の場合は虫垂炎、左下腹部の場合は便秘、恥骨上部の場合は尿路感染症などをまずは考えます。いずれにしろ、病院で浣腸をしてもらって、すっきりして帰宅できる便秘から、緊急手術が必要な病気まで、さまざまですので、痛みが自制できない場合は、フローチャートにしたがって、救急受診して下さい。特に、3歳未満の子が、「数分に激しく(腹痛で)泣く」、「嘔吐」、「血便」の場合、腸重積症という、腸が腸にめり込んでしまい、24時間以内に治療しなければ、腸が腐ってしまう病気があります。この場合、最初は血便のないこともあるのです。

最後に、このフローチャートはあくまで目安です。100%正しいかどうかは、子どもの状態によって異なります。不安な点、気になる点があれば、チャートにある医療機関にお問い合わせください。

夜間のこどもの腹痛 フローチャート

